

Vol.50 バリアフリー ムーブメント

“いざ”じゃないとき知る知識!
“いざ”というとき引き出す知識!

バリアフリーな社会を生きるため、
必要なことを先取りしよう!

「今回のテーマ」 インターネットで 事前に情報を入手!

既存の製品をより多くの人が使いたいようにしてくれるモノ、今まで使いにくかったものを使いやすくするためのモノ等、これからどんどん増えてくるバリアフリー化された製品や情報を紹介しているこのコーナー。
今回は、新生活に役立つ「インターネット」を利用して得られる情報を紹介する。

(森川 美和)

昨今インターネットの普及に伴って、自覚していないながらも、正しい情報が得られるようになってきた。旅行情報や食・物情報、最新スポットや海外の情報など、事前にチェックできるものも増えている。今回は、インターネットで得られる、車いすの方々が利用する宿泊施設情報や、高齢者や障害のある人にも使いやすいと思われる家賃・高層・障害のある人にも使いやすい「共用品」情報について紹介する。

「全国車いす宿泊ガイド」を活用して 事前にバリアフリー情報を得よう!

1984年に第一版を発行した『全国車いす宿泊ガイド』(社)全国背髄損傷者連合会発行)は版を重ね、現在第四版が発行されている。

2006年には本宿泊ガイドがインターネットでも閲覧できるようになり、車いすを使用している方々をはじめ、そのご家族や関係者の方々にも多く利用されている。



■インターネット版「全国車いす宿泊ガイド」
http://www.zensekiren.jp/guide/

■お問い合わせ先
(社)全国背髄損傷者連合会
〒1340085 東京都江戸川区南葛西5-13-6
TEL: 03-5605-0871 / FAX: 03-5605-0872
e-mail: office@zensekiren.jp/
URL: http://www.zensekiren.jp/

インターネット版「全国車いす宿泊ガイド」では、登録されている各宿泊施設の「バリアフリー」タグをクリックすると、各施設のバリアフリー情報を確認することができる。施設によっては、写真付きで各部屋の様子を詳しく説明しており、ベッド周りやバスルームの広さなどを数値で示しているところもある。

また、目の不自由な人や耳の不自由な人にも配慮した機器や、補助犬へサポート、駐車場の利用状況、レストランの施設整備などの情報など、



ページから予約ができるよう検討を始め、旅行会社等にも協力を呼びかけてきた。
本年4月、趣旨に賛同した(株)日本旅行が、自社のシステムを使い各宿泊施設のページから予約できるよう調整していることを発表し、同年5月中旬以降には利用できるよう

準備を進めている。また本システムは、宿泊施設の担当者登録制(が自社のページについてもアクセスできる)にしているため、常に最新の情報が掲載されるような仕組みになっている。同会理事長の妻屋明氏は「車いすで暮らしている人

も、普通の人の同じように旅行がしたい。そんな人たちに安心して利用できる、段差のないバリアフリーな全国の宿泊施設の情報をより多く提供して、素敵な旅の思い出を沢山つくってもらいたいですね」と話す。

交通のバリアフリーが進んだ今、次は何処に出かけようかという気持ちも出てくる。そんな時に全国の宿泊施設の情報が重要である。障害のある人達や高齢者が安心して旅行を楽しむためにも、より多くの宿泊施設事業者様に参加してもらったことが次の目標だ。

購入する前にチェック! 「ユニバーサルデザイン配慮家電製品」一覧

私達の身の回りはたくさん
の家電製品がある。

電話、テレビ、オーディオ機器、冷蔵庫、洗濯機、照明器具、電子レンジなど、様々な家電製品が私達の生活シーンに応じて活躍している。

これら多種多様な製品の中から、自分にあつたものを自由に選ぶことは楽しみの一つだ。しかし、多くの製品の中から自分に必要な機能を持つたものを探すには、時間も労力もかかる。兎にも角にもこの機能は必要(ほしい)という方や、高齢者や障害のある人達にとっても使いやすい製品を知りたいという方には、(財)家電製品協会が提供しているインターネット情報「ユニバーサルデザイン(以下UD)配慮製品」は必

見である。

「UD配慮製品」は、映像製品、音響製品、調理機器を含む10の項目(写真1)に分類されており、項目中に表示されている製品群(テレビやビデオ、炊飯器等)をクリックすると、メーカー別にUD製品を見ることができ、また製品毎に配慮内容を見ることもできるが、同協会が定めている以下の配慮事項を表にして、利用者にさらに分かりやすいようにしている。(写真2)

1. 操作が理解しやすい
2. 表示と表現がわかりやすい
3. 楽な姿勢と動作で負担なく使える
4. 動きやすいなど使用に配慮している

5. 誤操作防止など安全に安心して使える
6. 手入れがしやすいなど長く使える
またホームページには、メーカーの相談窓口の一覧(電話・ファックス番号)も記載されているので、更詳しい問い合わせが受けられる。



(写真1)

■「ユニバーサルデザイン配慮家電製品」一覧
http://ud.aeha.jp/

■お問い合わせ先
〒105-8472
東京都港区豊洲1丁目1番11号
虎ノ門八景ビル4階
電話: (03)3578-1311 (代表)



(写真2)

共用品推進機構 ホームページがリニューアル!

本年度より共用品推進機構のホームページがリニューアルしました。これまで多くの方々にご利用頂いていましたが、最近是一般の方々からのアクセスや問い合わせが増えました。リニューアルでは利用しやすいようにコンテンツを分かりやすく、また弱視の人や目の不自由な人にも閲覧していただけるよう、黒地に白字のページやテキストのページも用意しました。(http://kyoyohin.org)

■「共用品推進機構ホームページ」
http://kyoyohin.org/



(PR) 財団法人共用品推進機構 ☎03-5280-0020 / FAX03-5280-2373
URL: http://kyoyohin.org/ E-mail: jimukyoku@kyoyohin.org